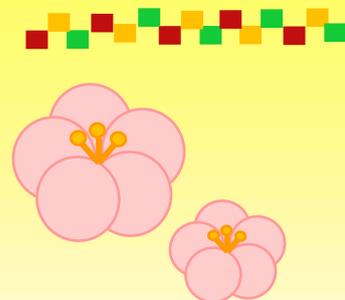


# なとセン登録団体活動紹介

## 波濤短歌会しぶきの会



### 私たちの活動

「波濤短歌会しぶきの会」は、短歌の創作を通して精神を安定し、人の輪を広げ、心豊かな人間生活を目指し、日本の文化継承に寄与することを目的に平成25年8月に設立しました。代表の柿沼寿子さんは、宮城県歌人協会短歌教室の講師でもあり名取市増田公民館で行う「短歌愛好会なみのこ」の指導もしています。熱心な受講者からの「あ～面白かった！」「絶対に辞めないでね」の言葉から、寄席を見た帰りのような爽快感も味わえる魅力が伝えられ、楽しんでくれていることが嬉しかったと話します。短歌は創作してみると難しいことではなく、その活動は生きがいや居場所づくりに貢献しています。

柿沼さんは、毎月の勉強会や発表会を通じて会員(7名)同士が常に向上心を持ち、仲間が成長できるように促しています。

近年では感染症などで事情がゆるしませんでした。本来は丸く机を囲んで意見を交換し合うのが勉強会と考えています。



【宮城県短歌大会における授賞式】

### 排悶の文学

短歌は日常生活の中にある一コマから生まれます。会員の中には家計簿の隅にメモを残すなどして、日々の出来事を短歌に詠み上げ、日常の小さな瞬間に気づく喜びを共有しています。

また、5・7・5・7・7の韻律を整えることで悩みや葛藤に対しワンクッションおけるようになり気持ちが楽になる。このように心の中のモヤモヤを払うことから「排悶の文学」と称されています。

辛い震災を経験し短歌が心の支えとなった柿沼さんは、短歌に触れたことがない方にも短歌は詠むだけではなくこういった精神の安定にも繋がることを知っていただきたいと語ります。

### 会員の新春作品

元旦のひかり差し込む参道を人らに付きて  
斗蔵寺(おとくらさん)へ 朝長スミエ

新しき年に読みたき七冊の本記をく白き  
手帳に 柴田道子



【投稿し掲載を楽しみにしている 波濤誌】

### 初めてみませんか

波濤短歌会しぶきの会は、新しい仲間が気軽に参加できる場所を提供し、短歌の素晴らしさ、楽しさを身近に感じていただけるよう会員同士の活動に留まらず、必要であれば講師として出向く姿勢を特に大切にしています。

短歌は、年齢やハンディに関係なくどなたでも始めることができます。興味を持たれた方はぜひ短歌を通じて互いに学び合い、心豊かな時間を共有しましょう。

問合せ先：波濤短歌会しぶきの会

代表 柿沼 寿子 ☎ 022-302-3347